

地域みんなの福祉のために

～赤い羽根共同募金
街頭募金に協力～

嘉麻市社協だより

えがお

毎月 発行日 2008.11.1 No.33



社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会
〒820-0205 福岡県嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内
TEL 0948-42-0751 http://kama.syakyo.com
FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

ふるさとへの
手紙 No.33

故郷の思い出!!

私は遠賀郡の水巻町に
在住しています。嘉麻市
牛隈に実家がありますが、
28年前故郷は出ています。
小学校に通った時、高



遠賀郡水巻町在住
濱田 円隆さん(79歳)
牛隈出身

くそびえる馬見山、古処山等を眺めながら、夏には嘉
麻川の水泳に、春には、学校の裏山の公園の桜の木の
下で写真を撮って貰ったのがアルバムにあります。
城下町ですから、城の跡地に連れて行ってもらい、松
の木が立派だったこと。遠足で、宮野・足白等果物を
いただき、おいしかった事。小石原も峠を越えて歩き
疲れた事や、焼き物が沢山で花瓶等立派だった事な
ど懐かしい思い出です。結婚後何年か下上山に住み、
大光山に何回か登りました。鬼子母神様にも大きな
岩が沢山あり、足元に気をつけた思い出もあります。
実家は、親の元気な(若い)時は商売をして、朝早く
からタバコ・味噌・食品・下駄類等何でも間に合う商
売で、朝から夜おそくまで番頭さんと一緒に私も店
番を手伝っておりました。母が百歳才まで生きてお
りましたので、毎月私、姉と、月1回通いました。弟夫
婦家族の思いやり、食事一斉にも気をつけて頂き、長
生きが出来たことを感謝致しております。
私は水巻町に50年住み家も建て、子ども三人にも
恵まれました。今は長男と同居して十八年になり、賑
やかな家族で友人より「いいね」と言われます。健康
に気をつけて、子供、孫と幸せの日々を送りたいと希
望しております。来年1月には満八十才になり、祖母
さんが「ドッコイショ」と言って立っていました。私
もその年になりました。
「えがお」を見せて頂いて、色々ためになることが沢
山ありました。一人では出来ぬことも皆の協力の大事
なことも思いました。有難うございました。嘉麻市
の今後の繁栄を水巻の地よりお祈り致します。

12月の総合相談



法律相談

1回目
と き: 12月4日(木) 13:00~16:00
と ころ: 山田ふれあいハウス

2回目
と き: 12月18日(木) 13:00~16:00
と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談

1回目
と き: 12月10日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

2回目
と き: 12月24日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談は、毎月第2・4水曜日に稲築住民センターにて開催
します。法律相談(無料)は、毎月第1木曜日が山田ふれあいハウス、
第3木曜日が稲築住民センターです。法律相談は予約が必要です。
お早めに下記までお申込みください。

会場案内 嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751

炭鉱の記憶 NO.20



シリーズ
西シズカさん
83歳
(平東在住)

今も、平東行政区の昔ながらの長屋で暮らす西
さんが、毎年楽しみにしている年賀状があります。
50年ほど前に、同じ長屋で苦楽を共にした宮内和
子さん(大阪府)からの便りです。「10年ほどお隣さ
ん同士だったんですよ。お互い30歳代前半で、家
事に育児に仕事で大忙しだったんですが、お互い
に支えあいながら生活をしていました。年賀状を
見ると、あつという間に過ぎていったあの頃の情
景がふと蘇ってくるんですよ...」
当時は、16世帯(長屋4棟)に1つの水道しか
なく、共同で使っていたそうです。水を汲みに行
くと、そこで立ち話になり、近くの方から「豆炊
いたけんお茶でも飲んでいかんね。」と誘われ、
いつの間にか上がりこんでおしゃべりするという
ことが、長屋の風景だったそうです。西さんは、
「奥さん同士、本当に仲が良かった。海水浴や川
遊び、花見など何をするにもいっしょだったんで
すよ。」と懐かしそうに振り返ります。
また、西さんは、子どもを保育園に預けて田川
まで電車で通勤するという、当時まだ少なかった
「共働き」家庭でしたが、子どもたちにも家事の
役割を分担したり、近所の方に支えてもらったり
しながら、なんとか両立できたと言います。「次男
は、保育園に歩いて登園していましたからね。今
じゃ考えられんでしょう?地域の誰もが顔が見えて
いた。だから安心して安全だった。」と言います。ま
た、「炭住での暮らしは、お互いが助け合うことで
成り立っていた。今はそれがありませんから、親も子も
孤立しがちになるのではないのでしょうか。」
「いつか、あの頃のようにたくさんおしゃべりが
できたらいいですね。」西さんが、宮内さんへ送る
年賀状には、必ずこの言葉が添えられています

○社協だより「えがお」は、赤い羽根共同募金の配分金で作成されています。

聞かせて、教えて
あなたの思い

Voice

ヴォイス
No.10

助けられたり、
助けたり、
仲間と共に
生きていく

NPO法人北九州ホームレス支援機構

「なかまの会」世話人 松葉 吉二さん(右)
上田 新一さん(左)



NPO法人北九州ホームレス支援機構(奥田知志理事長)は、野宿者の支援のための炊き出しや、自立支援住宅の運営などの事業を通して、ホームレスの命と人権を守り、自立を支える活動を行っています。支援機構のサポートを受けて、地域で生活を始めた方は、これまでに500名を超えるそうです。

そうした自立者同士がお互いを支えあう関係の中で、生きがいや喜び、希望などを見出し、平成14年に発足したのが「なかまの会」です。会員数は115名にのぼり、18名の世話人が孤立を防ぐために、定期的な訪問や入院中の方への訪問、月に一度の誕生日会やバスハイク、将棋大会などのイベント開催などを行っています。

お話を聞かせていただいた松葉吉二さん、上田新一さんは数年前まで北九州市内で野宿生活をされていました。支援機構のサポートを受けたことで、現在はアパートでの自立生活をされ、なかまの会の世話人としても活動しています。今回のVOICEでは、お二人に野宿生活の現実、そ

して現在の生活についての思いを伺いました。

野宿生活をされていたときのことをお聞かせください。

上田

私は、40歳くらいまでは会社に勤め、ごく普通に生活していました。しかし、体調を崩し、10年ほど入院生活を余儀なくされました。その後、退院することはできたのですが、なかなか定職にも就けず、家族との関係もうまくいかなかったり、いつのまにか社会の中での自分の居場所がなくなっているように感じ、野宿での生活を始めました。

松葉

上田さんとは野宿をしていた公園で出会い、行動を共にするようになりました。私たちは週に一度、二人で一晩中市内のアルミ缶を集めて回り、それを換金して、食べ物を買ったり、川沿いに小屋を作っていたときには、川で魚を釣ったりして食べていました。

商店街の一角で寝ているときに、酒に酔った人から自転車を投げつけられたり、別の場所ではダンボールで作った小屋に火をつけられ、服など

地域の中で生活を再スタートするまでの道のりは?

松葉

当時、生活していた場所からの退去命令が北九州市から出されたことがきっかけでした。それから、支援機構の自立支援住宅に入居しました。そこで、4ヶ月ほど地域での生活に向けた「自立支援プログラム」に参加した後に、アパートに転居しました。

新たな生活がスタートしたときは、不安はほとんどありませんでした。むしろ、ほっとしたことを覚えています。その頃はすでに自立支援住宅とともに過ごした仲間や、支

援機構のスタッフ、ボランティアさんの存在があったからだと思います。

上田

世話人には、それぞれ担当する地区があります。その会員の自宅を月に一度訪問し、状態を把握して支援機構に伝えたり、会員が集まる「なかま」という場所の運営に携わったり、交流会や将棋大会などの催し物の準備をしたりしています。

現在の生活への思いやこれからの夢をお聞かせください。

上田

今の私には、本当の家族のような仲間がいます。それに家族とも連絡を取ることができるようにもなりました。今が最高に幸せだと感じています。自分ひとりでは今の生活はなかつたと思います。今度は支援機構の活動を私たちが支えることができればとも思っています。



そうめん流しの様子

訪問してもなかなか会うことができないなど、大変な面もありますが、自立に導いてくれます。最近では、地域の自治会の活動にも参加しています。また、なかまの会として、病院の花壇の花植えなどの地域のボランティア活動にも参加し始めました。会の仲間だけではなく、これからは皆さんの人に支えられ、また支えながら生きていきたいですね。

あなたもホームレス支援に参加しませんか!?

●越冬支援物資(毛布・ジャンパー)募集●

野宿生活を続けるホームレスの方にとって、冬はまさに「命」をも奪いかねない、とても厳しい季節です。冬を乗り越えるために欠かすことのできない防寒着(ジャンパー)や毛布を募集します。

募集期間:平成20年11月4日(火)~12月22日(月)

募集内容:男性用ジャンパー、毛布 ※お寄せいただく際は、洗濯をお願いします。

物資は、嘉麻市社会福祉協議会(稲築住民センター内)までお寄せください。

●炊き出しボランティア募集●

北九州ホームレス支援機構が実施するホームレスの方への炊き出し、北九州市内の巡回パトロールに参加するボランティアを募集します。

実施日時:平成20年12月5日(金)・26日(金) 午後6時稲築住民センター集合
翌日午前1時帰着予定

募集定員:各回3名程度(18歳以上の方)

●犬や猫を預かるボランティア募集●

野宿生活において、犬や猫の存在が心の支えとなっている方も少なくないようです。しかし、そうした生活からアパートでの一人暮らしに移るとき、住宅の事情でこれまで飼っていた犬や猫を手放さなければなりません。そうした方が安心して生活できるよう、犬や猫を一時的に預かるボランティアを募集します。

お問い合わせ先:嘉麻市社会福祉協議会 ☎ 0948-42-0751

知り合おう伝えよう!!

みんなの活動、地域のホットニュース!!



高齢者を対象とした、正しい横断歩道の渡り方も指導

秋の全国交通安全週間(9月21日～30日)を目前にした9月18日、上嘉穂警察署管内(稲築地区を除く)の交通死亡事故ゼロ連続1,000日を達成しました。管内では、毎年2～3件の死亡事故が発生していましたが、平成17年12月の発生以来、今(10月21日現在)も更新中です。

自分の命は、自分で守る!!

上嘉穂警察署(三並正博署長)では、特に歩行者事故や高齢者ドライバーの運転対策に力を入れ、嘉麻市交通安全協会や地域交通安全活動推進委員5名の方々と連携し、各地区の老人会の会合や高齢者が集まる場所に積極的に出向き、年間数十回にわたり講習会を行っています。講習会では、横断歩道の正しい渡り方の指導を行う他、飲酒運転の悪質性・危険性を知ってもらうため、実際に運転するなどの体験型講習を行い、「歩行者には反射材があなたの命を守り、ドライバーにはシートベルトがあなたの命を守ります」と、命の尊さを伝えていきます。同署金丸洋一交通課長は、「事故の発生が最も多い交差点を中心に取締りを強化すれば、事故は減るかもしれないが、最も大切なことであり、安全で快適な車社会を築くことに繋がります。夜間歩行者には反射材を必ず着用すること、ドライバーには右よし左よし、再度の右よしなどの安全呼称を忘れない、自転車の二人乗りや無灯火をしないなどの交通マナーを守ってほしいです。」と呼びかけています。



「高齢者運転者標識」の表示を講和

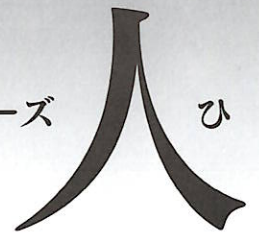


高齢者グランドゴルフ大会での交通安全指導

また、「通学路に横断歩道が是非必要」という要望が、民生委員や行政区などを通じて、嘉麻市交通安全協会理事の仲野千鶴子さんに寄せられ、その設置が実現し、毎朝40人程の子どもの安全が守られたこともあったそうです。まさに、警察署と地域が一体となり実現した結果です。こうした地域の方々の思いや、上嘉穂警察署の地道な活動が死亡事故ゼロ1,000日達成に繋がっていることと思います。しかし、何よりも大切なのは歩行者、運転者ともに「自分の命は自分で守る」という強い気持ちと、そして、思いやりをもった運転や事故防止への心がけ、交通マナーを守るということではないでしょうか。

Series Human No.13

シリーズ ひと



嘉麻市で今輝いている「人」を紹介します

若い力で嘉穂を
もっと楽しく、元気に!

熊本 ともな 伴 かみ さん
上在住 39歳



「若い力で、嘉穂をどげんかして盛り上げよう!」と、今から13年前に、嘉穂地区の有志11名が立ち上げたイベント企画グループ「ES(エス)」をご存知ですか?

熊本さんは、同グループの発起人として、ふれあいまつり嘉穂でのステージ部門の企画及び運営、野外ライブイベントの開催、「異業種交流会」と題した毎年恒例のキャンプなど、様々な活動を行っています。

「ES」は、Explosion Stoneの略で、直訳すると「起爆石」という意味です。自分たち自身がまちづくりに燃えて、ふるさとを元気にしたいという思いが込められています。

また、熊本さんは昨年12月、空き家の有効活用がまちおこしの第一歩になればと、築110年の古民家を手作業で改築して、カフェ&ギャラリーをオープンさせました。

今回は、「名仕掛け人」の熊本さんに、まちづくり、まちおこしにかかる思いを伺いました。



「2ヶ月かけて、全て自分で改装したんです。毎晩遅くまで、床や天井を磨いたり、土間を埋めなおしたりと、結構大変でしたが、自然にうまく溶け込んだ、嘉穂ならではの店になりました。」と、店内を見渡す熊本さんの表情は、とてもいきいきしています。今では、その雰囲気の良いおもしろい料理が口コミで広がり、市外から通うお客さんもいるそうです。

熊本さんは、高校卒業後、北九州市で営業や販売の仕事をしていましたが、26歳の時に地元に戻り、額装の仕事で本格的に始めました。「ES」を立ち上げたのもこの頃です。「嘉穂に住んでいる時は全くわからなかったんですけど、一度地元を離れて戻ってみると、ふるさとがとても新鮮に感じたんです。この素晴らしさをなんとかまちづくりに活かしたい。」熊本さんは、様々な活動に携わる一方、まちづくりやまちおこしのために、自分ができることはなにかというのを常に考えているのです。

「ES」の活動の第一歩は今から13年前。一夜城(益富城)のイベントをお手伝いさせてもらった時です。担当したイベントは、決して自分達が納得いくような内容ではありませんでした。地域の方との懇親会が今でも心に残っています。自分たちも地域のために出来ることあるんだなって思った瞬間でした。」

いつも自然体でアイデアを練り続けている熊本さんが今一番注目しているのが、「空き家」を魅力ある住居に「再生」させて、若い人たちをいかに定住させるかだそうです。「どこかに空き家があったら教えてくださいね!」熊本さんは、持ち前のエネルギーと発想力で、嘉麻市に新たな火を灯してくれるかもしれません。

イベント・ボランティア情報

身近な地域のイベントやボランティア募集に関する情報を掲載していますので、ご利用ください。
なお、各情報については詳しい内容は、それぞれの問い合わせ先にて、ご確認ください。

イベント情報

★嘉麻ふれあいまつり★

ステージでのアトラクションやキャラクターショーのほか、楽しいイベントが盛りだくさんです。また、野外イベントも開催していますので、是非お越しください。

- 日 時／11月8日(土)～9日(日)
- 会 場／嘉麻市稲築スポーツプラザ・多目的運動広場
- 問合せ先／嘉麻市商工観光課 ☎57-3154

クリスマスミニコンサート開催

「かたらい喫茶トロッコ」では、ゲストにシンガーソングライターさくらい英夫氏を招き、ギター演奏などのミニコンサートを開催します。

当日飛び入りで歌や演奏を披露していただける方も大歓迎です。ご家族やお友達を誘って、遊びに来てください。

- 日 時／12月20日(土) 13時～
- 場 所／かたらい喫茶トロッコ (山田図書館横)
- 問合せ先／古賀 ☎53-3337

ボランティア情報

ふあん・ファン・fan ハロウィックスイミング開催

障がいのある子どもにプールを楽しんでもらおうと、サルビアパーク(上山田)にて「ハロウィックスイミング」を開催しています。

一緒にプールに入っただけのボランティアを募集しています。水泳の経験はなくても大丈夫ですので、子どもたちと一緒にプールを楽しんでみませんか？

- 日 時／11月22日(土)10時～正午
- 場 所／山田サルビアパーク
- 募集人員／若干名

障がいのある子どもたちをサポートしてくれる ボランティアを募集

嘉麻市社協では、障がいのある子どもたちと一緒に遊んだり、宿題のサポートをしていただけるボランティアを募集しています。年間を通じて募集は行っていますが、12月からの長期休暇(冬休み)には、ボランティアが多数必要となります。

年齢や性別は問いません。詳しい内容については、下記までお問い合わせください。

●●●● 皆さんの「声」をボランティア活動のエネルギーに!! ●●●●

かまボランティア・市民活動センターでは、ボランティア活動に携わる皆様から多くの意見を集約し、市内のボランティア活動をより発展、活性化させていくことを目的に、運営委員会を設置しています。

この運営委員会は、ボランティアをしたい、受け入れたいという少しでも多くの「声」を集約できればと思い、4つの部会(①ボランティア・市民活動グループ、②社会福祉施設、③個人ボランティア、④福祉教育)で構成されています。この部会でまとめられた意見を運営委員会で協議していきたいと考えています。

センターでは、上記の「部会」に参画していただける個人及びグループを募集しています。あなたの「声」をセンターの運営、嘉麻市のボランティア活動発展のために活かしてみませんか？

お問い合わせ先:かまボランティア・市民活動センター ☎42-0751

かまボランティア 市民活動センター情報

2008年
11月

障がいのある子どもたちの 余暇活動をサポートしてください!!

障がいのある子どもたちにとって、スポーツや野外活動、地域のイベントなど様々な活動に参加する機会がどうしても限られてしまっているのが現状です。しかし、少しの手助けがあれば、その活動範囲は広がっていくのではないのでしょうか。

本会では、障がいのある子どもたちと一緒に遊んだり、関わったりできる支援者を増やしていくため、余暇活動サポーター養成セミナーを開催しますので、皆さまのご参加をお待ちしています。

- 日 時 平成20年12月13日(土) 午前10時～午後3時30分
- 場 所 山田ふれあいハウス会議室
- 主 な 内 容 ①保護者が語る余暇活動充実への思い
②子どもたちと関わるうえで大切なこととは？
③子どもたちと関わりましょう!! ほか
- 参 加 費 500円(別途昼食代が必要となります。)
- 参 加 対 象 者 障がいのある子どもたちの余暇活動支援に興味のある方
- 募 集 定 員 15名
- 募 集 受 付 期 間 平成20年11月4日(火)～11月28日(金)
※土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時まで
- 申 込・問 い 合 わ せ 嘉麻市社会福祉協議会 電話 42-0751



法人運営 Information

【理事会・評議員会開催状況】

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり理事会・評議員会を開催しました。

第24回理事会

開催日 平成20年9月24日(水)

【議案第54号】

一般会計第1次補正予算について

第14回評議員会

開催日 平成20年9月29日(月)

【議案第24号】

一般会計第1次補正予算について

【議案第25号】

理事の補欠選任について

苦情解決のための第三者委員を設置しています

本会では、定款第2条に基づいて行う事業の、福祉サービス利用者等からの苦情の申し出に適切に対処し、解決できるよう、第三者の立場に立つ「苦情解決第三者委員」を設置いたしましたのでお知らせいたします。

対象となる苦情

本会定款第2条に基づいて実施する事業(地域福祉事業、介護保険事業、受託事業等)に関する苦情が対象となります。(ただし、苦情が発生したサービス利用日から1年以内であること。)

苦情申し出人の範囲

苦情の申し出ができる方は、利用者本人、家族及び代理人のほか、福祉サービスの内容を熟知している民生委員・児童委員等です。

苦情の申し出方法

苦情は「苦情申出書」、その他文書、口頭で本会に直接申し出ることができます。

第三者委員

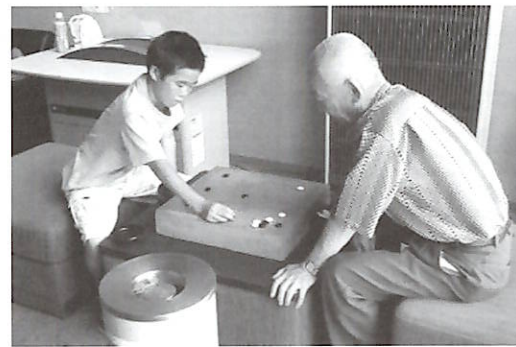
委員氏名	選出区分
吉松保則	民生委員・児童委員
田中三根子	民生委員・児童委員
福田哲也	司法書士

順不同・敬称略

嘉麻市社会福祉協議会 ☎ 0948-42-0751

ふれあい・千歳 新聞

囲碁・将棋を
楽しみませんか?



山田ふれあいハウスには、囲碁、将棋を自由に楽しむことができるスペースがあります。
なかでも、毎月第3日曜日には、山田囲碁同好会が熱戦を繰り広げています。興味のある方は是非一度ご来場ください。

フリーマーケットを
開催しました!

10月12日(日)、10時から15時まで、碓井千歳会館駐車場でフリーマーケットを開催しました。
個人の方や同会館を利用して出店され、晴天に恵まれた中、約200人の方が来場しました。
店頭に並んだ手作りの陶器や小物、花苗、家庭で不用になった衣類、雑貨などを「百円でもいい?」など値段交渉する場面も見られ、にぎやかな楽しい交流の場となりました。
また、「初めて碓井千歳会館に来ました。」という方が多く、同会館を知ってもらった良い機会となりました。



山田ふれあいハウス 上山田502番地6
TEL 52-1847

碓井千歳会館 下臼井1050番地19
TEL 62-3538

<http://kama.syakyo.com/siteikanri.htm>

1年生が梨の皮むきに挑戦

～稲築東学童保育所～



運動会も終わった10月上旬、稲築東学童保育所の1年生が、梨の皮むきに挑戦しました。
ほとんどの1年生が、果物ナイフを持つことがはじめてで、最初は「怖い」「怖い」と言っていた



ましたが、2年生、3年生のお兄ちゃん、お姉ちゃんのおかげを借り、なんとか皮むきを終わらせることができました。不恰好ながらも自分の手で皮をむいた梨。それを口にする子どもたちの表情は、ひとつのことさやい遂げたいという誇らしさに満ちていました。

嘉麻市の住民の皆様から、
ご寄附をいただきました。
心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し
9月16日～10月15日受付分

【東岩崎】
親族 沖 繁代 様
故 沖 亘 様
親族 茶 園 徳 恵 様
故 茶 園 徳 恵 様

【漆生本村】
親族 大 園 ミヨ子 様
故 大 園 貞 雄 様

【山野第二】
親族 富 田 幸 子 様
故 富 田 政 行 様

【漆生南部】
親族 井 上 滋 子 様
故 井 上 政 幸 様

【下白井西】
親族 永 田 伸 二 様
故 永 田 松 男 様

【立石】
親族 川 上 忠 和 様
故 川 上 芳 江 様

【山下】
親族 井 上 みつよ 様
故 井 上 一 雄 様

【中央】
親族 安 岡 直 喜 様
故 安 岡 エミ子 様

【日吉】
親族 光 延 広 喜 様
故 光 延 ヒサヨ 様

【熊ヶ畑第一】
親族 木 村 豊 次 様
故 木 村 守 様

【熊ヶ畑第二】
親族 笹 尾 晃 実 様
故 笹 尾 晃 実 様

【昭和】
親族 伊 藤 隆 文 様
故 伊 藤 セツ 様

【神幸】
親族 和 野 日 出 臣 様
故 和 野 美 帆 子 様

【筑紫】
親族 松 岡 宏 明 様
故 松 岡 秀 和 様

【三菱第二】
親族 竹 中 シゲ子 様
故 竹 中 一 男 様

【笹原】
親族 古 賀 文 明 様
故 古 賀 スガ子 様

【芥田】
親族 和 田 廣 美 様
故 和 田 光 雄 様

【西馬見】
親族 山 本 シズ子 様
故 山 本 明 様

【鴨生町】
親族 曾 我 健 太 様
故 曾 我 健 哉 様

【一般寄附】
飯塚市 真崎 里恵 様
嘉穂の名水愛好者一同 様

【子育てリユース】
辻中籠 中並 愛美 様
辻中籠 森安 恭子 様
鴨生第一 野上 和美 様
平第一 服部 陽子 様
銭代坊 工藤 恵 様
下白井西 井上 忍 様
笹原 山根 りか 様
昭嘉 児玉 杏奈 様
南ヶ丘団地 清水 愛味 様

【アルミ缶】
さくらが丘 大場 睦子 様
千手 藤原 朋美 様
飯塚市 小野 聡子 様

【リングプル】
鴨生町 曾我 健太 様
石ヶ崎 國武 美千代 様
大橋 姉川 亮太 様
三菱第一 匿 名 様
熊ヶ畑第二 山本 ヨシ子 様
尾浦第一 谷口 安正 様
下牛隈 畠中 鈴香 様
山田手話の会 嘉麻市保護課 様
嘉穂つ子キッズ グランドベルズ飯塚 様

【チャイルドシート】
石ヶ崎 匿 名 様
嘉麻市 匿 名 様

【個人会員】(緑ヶ丘) 河野カヨ子・篠原文子・松本孝子・秋丸ヒフミ(二口)・津口ヤエノ(二口)・升野達・原中利雄・月俣シズエ・森口春江・岡本玲子・畷村順子・蜂須賀テル子・黒石峰雄・松本政之・原純子・野嶋シズヨ・川上佐登美・川上一記・城崎淳代・松本正義・安本博幸・白土芳夫・水上文雄・中村忠義・畑美代子・手島国雄・新原タミ・江野島敏行・平野洋子・田原有光・島田清子・植野チドリ・衛藤昇・野上定雄・滝石みよ子・衛藤清二・野村カツエ・宮本孝子・日高龍馬・永野シカ・富永昭信・松下未太郎・松尾尚幸・篠原弘之・庄司はつ子・藤田加代子・村上義孝・愛甲一枝・島章・渡辺チカエ・毛利津奈子・船元晴恵・山本光博

【榎渡】岡本孝一・藤春俊一・山本孝二・藤春チエ子・藤春浩太郎・藤春美良・萬田紀男・藤春喜代士・大谷直美・永利理加・藤春虎雄・藤春正記・藤春クミエ・花岡義美・藤春次夫

【敬称を省略させていただきます】
9月16日～10月15日受付分

ご加入いただきました。
会員として、次の方々に
あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています。

松本光俊・石井岩雄・大谷千代子・花岡等・松本克之・松本美喜男

【笹原】クリーン碓井(十口)
【中央】濱加代子・三浦角男・林田邦彦・中山マスミ・齊藤キヨ子・大田輝子・大里ツルミ・江頭和昭・伊藤清尊・坂本美雪(下宮)・椿甫・山藤やす子・仲道庸正

【西川】吉永範男・大里幸子・安武睦恵・真次悦子・松岡智子・山下俊実・松岡和子・広瀬サツ子・田中秀文・酒井彦光・梶村アサ子・大塚久江・太田聖子・井上美代子・溝口義智

【中山山下】森永金保・箕田ヤヨイ・松井正吉・堀ハツエ・藤田幸森・藤崎チエ子・深水邦泰・奈木野トシ子・中村博紀・手島利之・小場佐勇・佐伯トシ子・木下幸三・植木待子・植木卓・足立賢太・赤井ミチ子・藤田涌子・豊重子(三口)

【木城】端山文代・松本美枝子・西藤敏子・中田盛樹・竹中ミツ子・坂口豊子・佐藤トヨ子・長岡峰雄・葛尾勉・大塚静

【昭和】竹森笑美子・下田伸三郎・下田勢四郎・北村正弘・矢野ヒトミ・大塚軍治・大久保猛彦・明石ミサヲ・隈元シゲ子

【大橋】實藤幸三
【三菱第一】緒方誠
【原町】高倉純子

嘉麻市社会福祉協議会指定
【葬祭場紹介】 善光会館稲築会場 嘉麻市鴨生277-17 ☎(0948) 83-5000



- 24時間承ります。もしもの時はいつでもお電話ください。
- ゆったりとした会場です。ロビーも広々!
- 全室バリアフリー。もちろんトイレもバリアフリーです。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、善光会館稲築会場を含め、市内に8カ所あります。

- おかむら葬祭岡村会館 ☎ 42-4420
- 飛鳥会館 南斎場 ☎ 42-4241
- きど葬祭 やまさ碓井斎場 ☎ 62-4499
- ひさつね会館 ☎ 52-0758
- いすや会館 ☎ 57-4444
- セレモニーホールおおつか ☎ 52-1212
- かほ葬祭あじさい会館 ☎ 62-5566

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝え下さい。葬祭にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 No.18



今回ご回答頂くのは…
善光会館稲築会場 大津 進さん

Q. 地元知り合いのお寺さんがいません。どうしたらよいですか？

A. 故人の宗派もしくは先祖代々の菩提寺を確認していただければ、地元のお寺さんを紹介することができます。しかし、お寺さんとは、その後の付き合いもありますので、喪主や親族の方とよく相談してもらいように、願っています。

コラム 交差点



最近、子どもたちが犠牲になる事件が頻発しています。また、インターネット上に心のない殺人予告が書き込まれることもあります。そのたびに、二児の母としてとても悲しい気持ちになります。どこか遠い感じがしています。しかし、私たちが住む嘉麻市内においても、下校中の子どもが連れ去られそうになったこともあり、幸い、子どもは無事に帰宅できたようですが、身近な地域での出来事なので、とても他人事とは思えなくなりました。

朝、子どもを「いつてらっしやい」と見送り、「おかえりなさい」と迎えることができないんじゃないか。そんなことを考えていると、登下校が心配でなりません。しかし、子どもにとつて歩いて登校することは、とても大事な時間だと思のです。色とりどりに咲く花を見ながら季節を感じ、鳥や虫たちと触れ合いながら学校までの道のりを歩く。私も仕事が休みの時などは、川で泳ぐ魚を見て「なんの魚かな？」と話しながら、一緒に学校まで行くこともあり。学校への登下校の時間というのは、家庭や学校では教えてくれないことを学んだり経験する、よい機会になっているのではないかと感じます。

学校への登校中、交通量の多い交差点や横断歩道には、地域の方々や先生たちが立って来ています。学校に着くまでの間、何人もの人が事故に遭わないように、また、元気に学校に通えるように、子どもたちのことを守ってくれています。散歩をする人、通勤途中の人が「おはよう」と声をかけてくれる。子どもを安心して送り出せるのも、多くの人たちのお陰だと、いつも感謝しています。(美)